

2000万署名紙芝居で訴え

新宿駅前で宣伝

安保法制（戦争法）の廃止を求める街頭宣伝が6日、東京・新宿駅前で行われました。「2000万署名」への協力を呼びかける「戦争法が」成立したことを知らなかった」と話す男性など50

人ほどが立ち止まり、署名に応じました。主催は「解釈で憲法9条を壊すな！実行委員会」です。

宣伝には約60人が参加。「平和憲法」と書かれたプラカードを掲げたり、紙芝居や歌などのパフォーマンスも行いました。選挙協力

などで合意した5野党の話題など、参院選についての対話が目立ちました。マイクを握った実行委員会のメンバー、菱山南帆子さんは「戦争法の施行が今月末に迫っています。強行採決された時の怒りを思い

出し、一緒に声をあげましょう」と訴えました。仕事で東京に来ていた、佐賀県杵島郡の女性（42）は「デモとかに参加したことはないけれど、この法律はダメ」と署名にペンを走らせています。神奈川県鎌

倉市の男性（34）は「家にテレビがない。心配はしていたが、（戦争法が）成立したとは知らなかった」と驚きます。「選挙は毎回、戦争に反対している覚に連れてきた。絶対に廃止してほしい」と話しました。